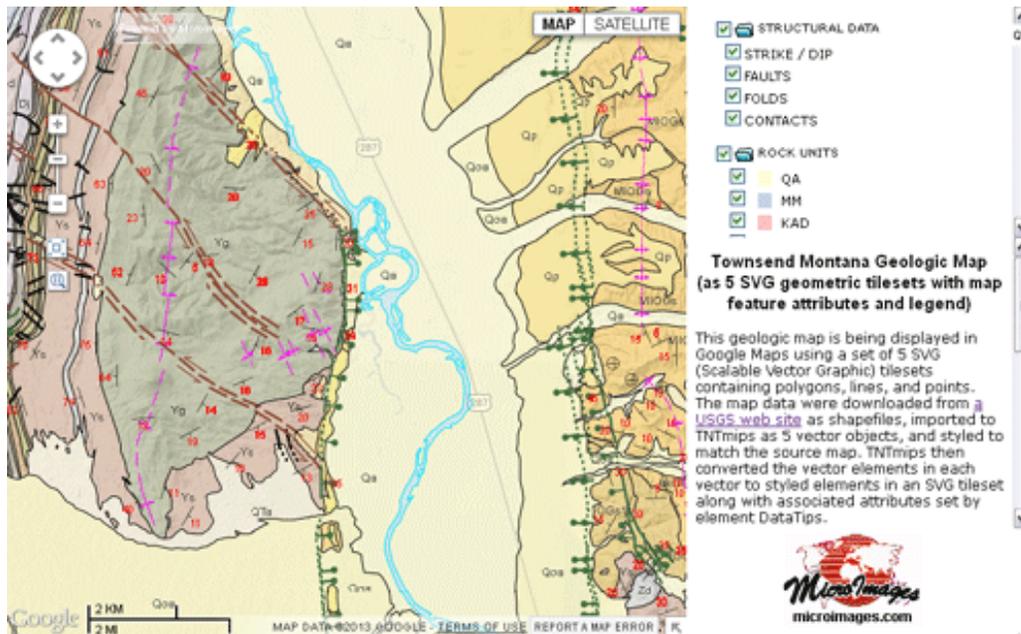


# SVG と KML 図形タイルセットの比較

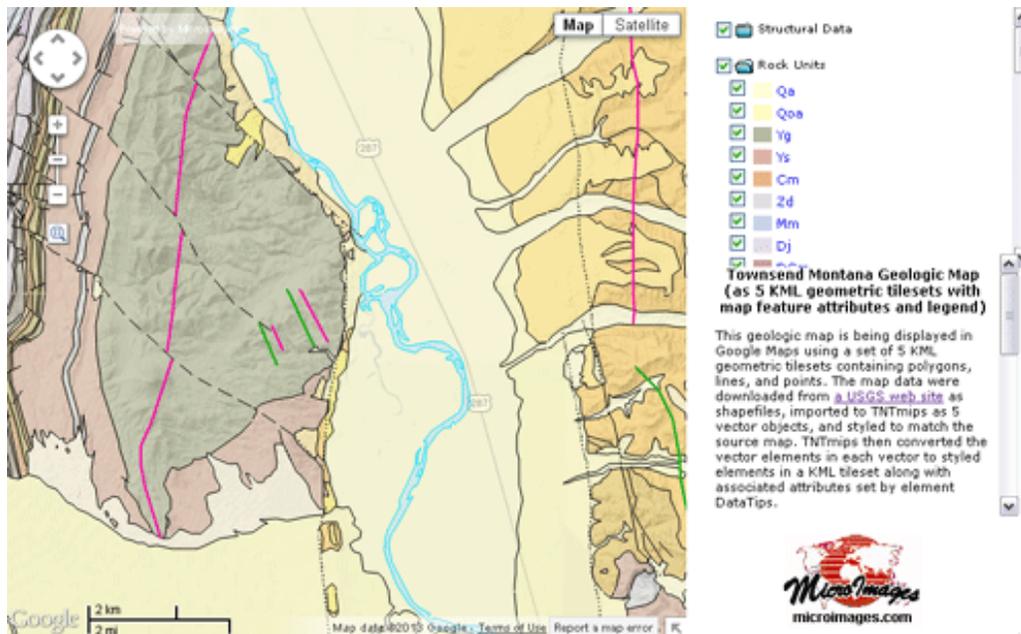
SVG(Z) と KML 図形タイルセットは、地図データを属性込みのタイル化されたベクタ図形の形式で持っていますが、両者の間には特徴と機能に少し違いがあります。TNT の持つベクタスタイルの広範なサポート、及び 2D ジオビューワ (Google Maps と Open Layers) での高速で効率的な表示を期待するには、SVG または SVGZ 図形タイルセットをお使い下さい。アプリケーション版やブラウザ版の Google Earth に 3D 表示する場合は、KML 図形タイルセットをお使い下さい。さらに詳しい比較を下に示します。

## モンタナ州タウンセンドの地質図

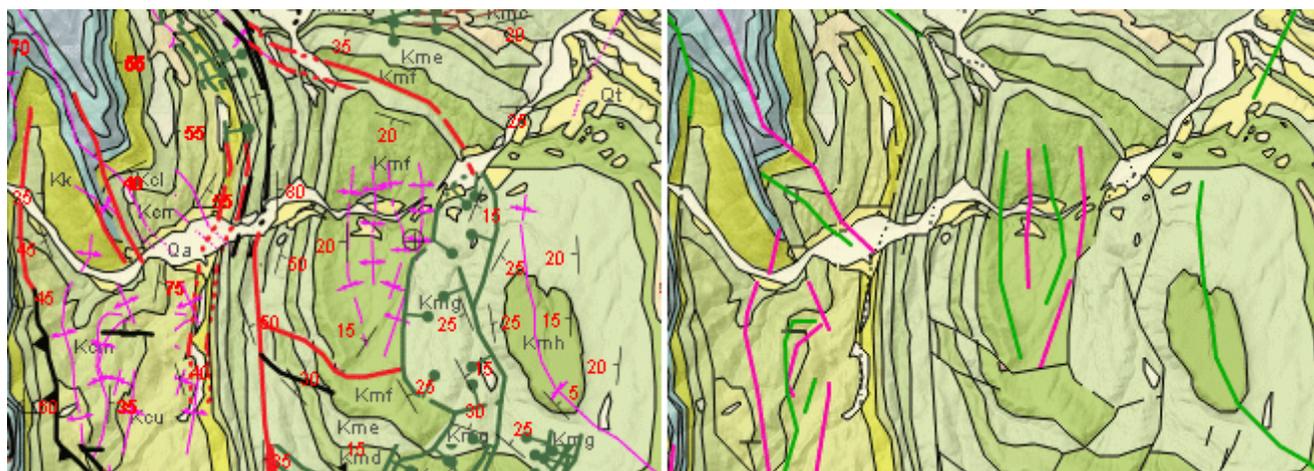
SVG タイルセットを使った Google Map



KML タイルセットを使った Google Map



|                | SVG/SVGZ 図形タイルセット   | KML 図形タイルセット   |
|----------------|---|--|
| 要素             | 要素スタイルを広範囲にサポート   | 要素スタイルのサポートに制限あり   |
| スタイル           |   |  |
| ポイント           | 標準のポイントシンボルやユーザが作成したカートスクリプトからレンダリングされたベクタ図形記号                  | 標準のポイントシンボルからレンダリングされたリンクしたPNG画像。カートスクリプトはサポートしていません。                  |
| ライン            | カラーの実線、ラインパターン、カートスクリプトをサポート。                                   | さまざまな幅を持ったカラーの実線でラインと破線をサポート。<br>カートスクリプトはサポートしていません。                  |
| ポリゴン           | ポリゴンの半透明塗りつぶし<br>; ポリゴン輪郭のラインパターンのサポート                          | ポリゴンの半透明塗り潰し<br>; 実線と破線によるポリゴン境界                                       |
| ラベル<br>(固定ラベル) | ベクタグラフィックに変換  | テキストラベルを持ったポイント要素に変換   |
| ダイナミックラベル      | ベクタグラフィックに変換  | サポートしていません。  |
| タイルの格納サイズ      | タイルサイズ小 (効率的なストレージ)   | タイルサイズ大 (特に小さなズームレベルの場合)   |
| ラインの精細さ        | 実用的なタイルサイズにおいて、より複雑なライン種別を持つことが可能 (タイルセット作成の際、細線化係数を小さく設定できます)。 | 実用的なタイルサイズを維持するために、ラインの複雑さを下げる必要があります (タイルセット作成の際、細線化係数を大きくする必要があります)。 |
| 表示速度           | 全てのズームレベルにおいて高速。ブラウザが、SVGのレンダリングをネイティブでサポートしています。               | タイルサイズが大きいために遅くなることがある (特にズームレベルが低い時)。レンダリングの前にブラウザがタイルを変換します。         |
| 使用環境           | Google マップ、Open Layers  | Google マップ、Open Layers ; Google Earth での3次元表示                          |



SVG、SVGZ 図形タイルセット (左図) では、複雑なラインやポイントスタイルを表示できます。カスタムのカートスクリプトで作られた TNT ベクタスタイルも表示できます。KML 図形タイルセット (右図) では、シンプルなラインスタイルやポイントシンボルに制限されます。